

園長室だより

令和3年度 第4号（7月19日発行）大阪市立立葉幼稚園長 福澤 郁子

昨年度に引き続き、コロナ禍の中、子どもたちは園内でできるいろいろな経験を重ねて、教師や友達との関わりを楽しんできました。立葉幼稚園の教育にご理解、ご協力をいただき、無事に1学期を終えることができました。本当にありがとうございました。

2学期も、元気に登園してください。待っています。

泥遊び



砂場で泥遊びが始まりました。まずは、ゆり組が先陣をきりました。スコップで穴を掘ったり、道を作ったりしながら、水を流し入れていました。水が吸い込まれる様子を見てどんどん水を入れたり、溜まった池に入って深さや温度を感じたり、学びにつながる体験をしています。周りで見ていたばら組は、自分たちのできる日を楽しみにしながら、食い入るように、ゆり組の遊びを見ていました。

いよいよばら組の番です。期待が高まっていた分、勢いよく砂を掘ったり、水を流したり、ゆり組がしていたことを真似たり、そこから自分たちで考えたりしながら、存分に砂や水、泥の感触を味わっていました。



一人に一つある水鉄砲で遊びます。遠いところから狙いを定めて的にめがけて水を飛ばします。穴に水を入れて、ペットボトルに貯めたら色水に変わる的、たくさん濡れたら溶けて下にあるカードが落ちる的等、ゆり組は、少し難しい的に挑戦しています。

泡遊び

ゆり組は、絵本『せんたくかあちゃん』を読んで、洗濯ごっこをしました。泡立てて泡がなくなるまでゆすいで、園庭に干しました。広い園庭の高いところに干されたアトリエ着を見上げて気分爽快です！！



石けんで泡ができること、泡がシャボン玉になることを経験し、泡立てたりクリーム状にしたりと泡遊びが始まりました。そこから、シャボン玉遊びにも発展しています。



水遊びのいろいろな場で、異年齢が交わって遊んでいます。同じ環境でも発達によって、ふさわしい環境が少しずつ違います。子どもたちは、刺激を受け合って、遊びを发展させ、いろいろな気づきや学びを経験していています。

水鉄砲

ばら組は、少し近い距離に、ペットボトルで作った的に並べて倒す遊びを考えました。もも組も仲間入り。力加減から考えると、近い距離のこちらが人気のようです。



七夕・誕生会

笹に飾られた3クラスの笹飾りをみんなに紹介しました



七夕にお供えた物の一つ一つの意味を知らせました



先生たちによる、『七夕ものがたり』の劇遊び。迫真の演技に、思わず息をのむ園児の姿も見られました。七夕の夜に、天の川をカササギの橋がかかって無事に織姫と彦星が出会えますように…。と願いをこめると、雨模様だった外がパッと明るくなった、と子どもたちが大喜びしていました。夢が広がります。



夏休みに向けた保健指導

外から帰って、手を水だけで洗ったAちゃんのもとに、天の人が現れて、石けんを使うことの大切さを教えてもらいました



夏休みだからと夜遅くまで起きていて、朝にお母さんに起こされても起きられなかったBちゃん、友達との約束に遅れ元気に遊ぶ力もなくて困ってしまいました



ご飯を食べた後に、歯磨きをせずに眠ったCちゃんのもとに天の人が現れ、口の中のばい菌を見せられました。歯磨きの大切さと仕上げ磨きの必要性を教えてもらいました



最後に、天の人からの挑戦状。「早寝早起き・手洗い、うがい・歯磨き、仕上げ磨き、それぞれ夏休み中、毎日頑張るんじやぞ！」



楽しい予定がたくさんあるかと思いますが、熱中症や感染症対策に留意しながら、長い夏休みを楽しく元気に過ごしてください。